



2020年2月27日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

環境省の「ESGファイナンス・アワード」において 金融サービス部門で銀賞を受賞

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、環境省主催の「ESGファイナンス・アワード」の金融サービス部門において、銀賞を受賞しました。

1. 「ESGファイナンス・アワード」について

ESGファイナンス・アワードは、ESG金融などに積極的に取り組み、環境・社会に優れたインパクトを与えた投資家・金融機関や、企業価値と環境・社会インパクトを生み出している企業の取組を評価し、社会で共有することを目的とする表彰制度です。本表彰の詳細については、以下のリンク先をご参照ください。

<http://www.env.go.jp/press/107759.html>

2. 評価されたポイント

損保ジャパン日本興亜は、『防災・減災費用保険』などの提供を通じ、自然災害への対応を促進するとともに、気候変動の適応ビジネスの拡大に寄与している点が評価されました。

『防災・減災費用保険』とは、当社が全国市長会および全国町村会を通じて提供している自然災害発生時の避難勧告発令によって自治体が負担する各種費用を補償する保険商品です。迅速かつ適切な避難勧告等の発令の促進により、本商品の提供を通じて、住民の生命を守り地域のレジリエンス向上に貢献することを目指しています。防災・減災費用保険の概要については、以下のリンク先をご参照ください。

<https://www.sompo-hd.com/csr/action/community/content2/#01>

3. 今後の展開について

損保ジャパン日本興亜は、今後も本業を通じた社会課題の解決を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。



表彰式の様子（2月26日@品川インターシティホール）

左：損保ジャパン日本興亜取締役専務執行役員・飯豊 右：小泉環境大臣

以上